

SEMPAI INTERVIEW { 就職編 }

進学か就職か 県内か県外か

センパイインタビュー



Profile



株式会社日本農業 弘前支店
製造部
しらかわ かいり
白川 漣さん

五所川原市出身。青森県立五所川原農林高等学校卒業後、2024年に株式会社日本農業に入社。選果部門に所属し、農家から仕入れたりんごの選果・梱包を担当。

Q1

入社のきっかけは？

高校の先生から勧められたのがきっかけです。当社は、「日本の農業で、世界を驚かす」をキャッチフレーズに、青森りんごの生産効率向上と海外輸出に力を入れています。インターンシップに参加したところ職場の雰囲気も良く、農業の可能性に挑む姿勢に惹かれて入社しました。

Q2

仕事内容と、やりがいは？

農家の方から仕入れたりんごの選果・梱包のほか、アルバイトへの選果レクチャーを担当しています。輸出先によって大きさや色味などの選果基準が異なるため、各国のニーズに合わせて選果しています。お客様の喜ぶ顔を想像し、ていねいな梱包を心がけており、「おいしかった」という声は何よりの励みになっています。



Q3

働きやすさと、プライベートの過ごし方は？

上司とも気さくに話せる雰囲気の良い職場環境です。選果部門は繁忙期以外にまとまったお休みも取得できるので、友達と釣りに出かけています。また、残業がほぼないため、冬は仕事帰りにスノーボードを楽しんでいます。

Q4

今後の目標は？

入社間もない頃は、選果の判断に迷うことが多くありましたが、今では自分の判断で選別できるようになり成長を実感しています。今後は、これまでの経験を生かしながら、当社のりんごの価値をお客さまにアピールするために営業職にも挑戦したいと思っています。

Q5

高校生へのメッセージ

地元の田んぼや川が広がるのどかな景色に囲まれて暮らしていると、地元で就職して良かったと感じます。仕事では日々新たな刺激があり、世界を相手に働けることに誇りを感じています。これからの時代を背負っていくのは私達、若い世代。未来に向かって挑戦してください。

取材してくれた人は？

High School Student Interviewer.



青森県立五所川原農林高等学校2年
いしおか けいた
上: 石岡 慶太さん
くどう あおい
左: 工藤 葵さん

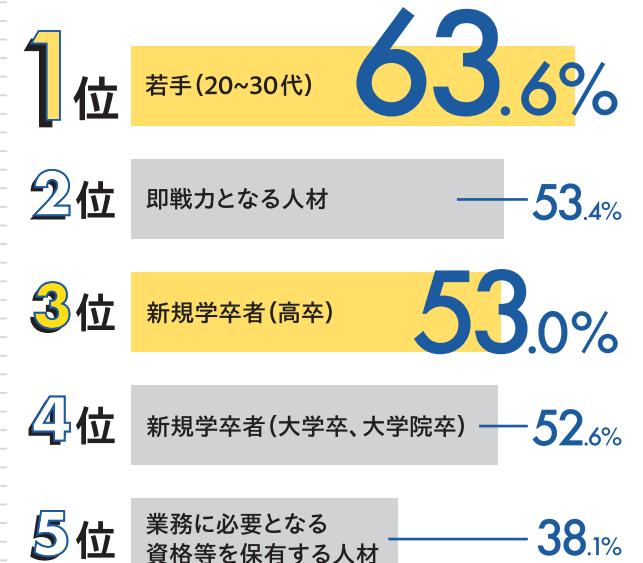


Data:

青森県内企業が求める

人材

とは？



0 10 20 30 40 50 60 70%

出典:青森県「県内企業・団体等意識調査(令和4年)」

株式会社日本農業 弘前支店 採用担当 太田 彬晴さんの声

私たちが、若い人材を求める理由は、新卒者や若者が持つ新しい視点から学ぶことがたくさんあるからです。若い人にはスキルの有無よりも、疑問を持ったことをそのままにせず、積極的に学ぶ姿勢を求めています。就職活動で大事なことは、「自分に合った環境で成長できるか」という視点を持つこと。まずは興味を持った会社を知ることから始め、自分がどのように成長できるかをイメージしてみてください。自分に合った道を見つけ、一步を踏み出すことを応援しています！

TASHI NO MIRAI

WATASHI NO MIRAI

WATASHI NO MIRAI

WA

10